

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年2月8日(2018.2.8)

【公開番号】特開2016-168182(P2016-168182A)

【公開日】平成28年9月23日(2016.9.23)

【年通号数】公開・登録公報2016-056

【出願番号】特願2015-49686(P2015-49686)

【国際特許分類】

A 47 K 10/48 (2006.01)

【F I】

A 47 K 10/48 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月21日(2017.12.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

空気を送風可能な送風手段と、

ユーザが手を挿入可能な手挿入部と、

前記手挿入部の壁面に設けられ、前記送風手段により送風された空気を前記手挿入部の内部に向けて吹き出すノズル孔と、

前記手挿入部の底部に配置され、手から飛散した水を受ける水受け部と、

前記水受け部に設けられ、前記水受け部から水を抜くための排水口と、

前記排水口の下側に着脱可能に設けられ、前記水受け部から前記排水口を通って流出した水を貯める水受けカップと、

前記水受け部に設けられ、前記送風手段の作動時に音を抑制する消音機構と、

を備えた手乾燥装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明に係る手乾燥装置は、空気を送風可能な送風手段と、ユーザが手を挿入可能な手挿入部と、手挿入部の壁面に設けられ、送風手段により送風された空気を手挿入部の内部に向けて吹き出すノズル孔と、手挿入部の底部に配置され、手から飛散した水を受ける水受け部と、水受け部に設けられ、水受け部から水を抜くための排水口と、排水口の下側に着脱可能に設けられ、水受け部から排水口を通って流出した水を貯める水受けカップと、水受け部に設けられ、送風手段の作動時に音を抑制する消音機構と、を備えている。